様式第五十一の二備考１のく中「「【図面の簡単な説明】」の欄」を「「図面の簡単な説明」」に、「する。」を「し、図の説明の前には、「【図面の簡単な説明】」の見出しを付す。」に改め、くを同備考のホとし、同様式の備考２中「９」の下に「、16」を加える。

様式第五十一の二の次に次の一様式を加える。

様式第51の２の２（第38条の２関係）

【書類名】　特許請求の範囲

【請求項１】

〔備考〕

１　請求の範囲の翻訳文は、次の要領で記載する。

イ　用語は、その有する普通の意味で使用し、かつ、明細書及び請求の範囲の翻訳文全体を通じて統一して使用する。ただし、特定の意味で使用しようとする場合において、その意味を定義して使用するときは、この限りでない。

ロ　「特許請求の範囲」の請求項に付す番号は、「【請求項１】」、「【請求項２】」のように記載する。

２　その他は、様式第29の２の備考１から６まで、８、10及び15と同様とする。

様式第五十一の三の備考１中「150」を「170」に、「245」を「255」に改める。

様式第五十一の四の備考１中「明細書」の下に「、請求の範囲」を加える。

様式第五十二中「（【補正により増加する請求項の数】）
【手続補正１】
【補正対象書類名】
【補正対象項目名】
【補正方法】
【補正の内容】」を「【手続補正１】
【補正対象書類名】
【補正対象項目名】
【補正方法】
【補正の内容】」に改め、同様式の備考２中「明細書
特許請求の範囲
全文
変更」を「【特許請求の範囲】」の欄名」を「【書類名】」に改め、「引くこと」の下に「（「【請求項○】」の欄名は除く。）」を加え、同様式の備考３中「、様式第13の備考９」を削る。

様式第五十三中「【提出物件の目録】
【物件名】（明細書の翻訳文１）
【物件名】（図面の翻訳文１）
【物件名】（要約書の翻訳文１）」を「【提出物件の目録】
【物件名】（請求の範囲の翻訳文１）
【物件名】（明細書の翻訳文１）
【物件名】（図面の翻訳文１）
【物件名】（要約書の翻訳文１）」に改め、同様式の備考中「、35」を「から26、36」に、「36」を「37」に改める。

様式五十四中「（【補正により増加する請求項の数】）」を削り、同様式の備考２のイ中「「明細書」」の下に「、「特許請求の範囲」」を、「ように」の下に「1970年６月19日ワシントンで作成された」を、「特許協力条約」の下に「（以下この様式において「特許協力条約」という。）」を加え、同備考のロ中「「発明の名称」、「特許請求の範囲」、「発明の詳細な説明」、「図面の簡単な説明」、「請求項○」、段落番号「○○○○」、「図○」、「符号の説明」、「全文」、「全図」」を「「全文」、「発明の名称」、段落番号「○○○○」、「請求項○」、「全図」、「図○」」に改め、「1970年６月19日ワシントンで作成された」及び「（備考４及び７において「特許協力条約」という。）」を削り、同備考のニ中「明細書」の下に「、特許請求の範囲」を加え、同様式の備考３中「「【特許請求の範囲】」、「【発明の詳細な説明】」若しくは「【図面の簡単な説明】」の欄若しくは「【特許請求の範囲】」の欄の「【請求項○】」、「【発明の詳細な説明】」の欄の」を削り、「「【図面の簡単な説明】」の欄の図の説明の「【図○】」若しくは「【符号の説明】」」を「「【配列表】」」に改め、「引くこと」の下に「（「【」及び「】」で囲んだ欄名は除く。）」を加え、「「【特許請求の範囲】」に記載した請求項の数又は「【発明の詳細な説明】」の欄に記載した」を削り、「増加又は」を「増加若しくは」に、「（明細書の全文を提出する場合を除く。）は、「【特許請求の範囲】」又は「【発明の詳細な説明】」の欄」を「又は見出しを追加、削除若しくは変更するものであるときは、明細書の全文」に改め、同様式の備考８中「、様式第13の備考９」を削り、同備考８を同様式の備考９とし、同様式中備考７を備考８とし、備考６を備考７とし、備考５を備考６とし、備考４を備考５とし、備考３の次に次のように加える。

４　特許協力条約第34条の規定に基づく補正に係る特許請求の範囲の翻訳文は、特許請求の範囲の全文又は「【請求項○】」を単位として提出しなければならない（特許法第184条の４第１項又は第２項の翻訳文に対し、その記載した事項を変更した個所に下線を引くこと（「【請求項○】」の欄名は除く。）。）。この場合において、特許協力条約第34条の規定に基づく補正が特許法第184条の４第１項又は第２項の翻訳文に対し、請求項の数を増加又は減少するものであるときは、特許請求の範囲の全文を単位として提出しなければならない。

様式第五十五の備考２中「出願」を「申出」に、同様式の備考４中「及び19、22」を「、19及び22」に改め、「24」の下に「から26」を加える。

様式第五十六の備考８中「から４まで」を「、３、４」に、「、様式第25」を「並びに様式第25」に改め、「並びに様式第53の備考４」を削る。

様式第六十一の四の備考２中「備考１から３」を「備考１から４」に改める。

様式第六十一の五中備考３を削り、備考２を備考３とし、備考１を備考２とし、同様式に備考１として次のように加える。

１　書き方は左横書、１行は36字詰めとし、各行の間隔は少なくとも４㎜以上とり、１ページは29行以内とする。

様式第六十一の五の備考６中「代表者が」を「代理人が」に改め、同様式の備考７中「「【審判請求人】
【識別番号】
【住所又は居所】
【氏名又は名称】
（【国籍】）
（【電話番号】）
（【ファクシミリ】）」を「【審判請求人】
【識別番号】
【住所又は居所】
【氏名又は名称】
（【国籍】）
（【電話番号】）
（【ファクシミリ番号】）」に改め、同様式の備考12中「から５まで」を「、２、４、５」に、「備考16」を「備考11」に改める。

様式第六十四の三の備考２中「から４まで」を「、２、４」に、「４、６」を「１、４、６」に改める。

様式第六十五の二の備考２中「から４まで」を「、２、４」に、「４、６」を「１、４、６」に、「７㎜で」を「７」に改める。

様式第六十五の四の備考中「から４まで」を「、２、４」に、「４、６」を「１、４、６」に改める。

様式第六十五の六の備考２中「から４まで」を「、２、４」に、「４、６」を「１、４、６」に改める。

様式第六十五の九の備考中「から４まで」を「、２、４」に、「４、６」を「１、４、６」に改める。

様式第六十五の十一の備考中「その他は、」を削り、「から４まで」を「、２、４」に、「４、６」を「１、４、６」に、「、様式第64の３」を「並びに様式第64の３」に改める。